

# 令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	1年		
教科	芸術	科目	美術	単位数	1.5
担当者	全組	村上			
教科書	中学美術1(日本文教出版)		副教材		

## ○学習到達目標

- 自分のイメージを工夫と技能を活かして表現できている。
- 道具・材料・技法の理解、課題に関する美術作品への理解。
- 個性豊かに発想と完成に向けて積極的に表現をする。
- 美術作品について、その魅力や世の中での役割について深く考えることができる。
- クラスメイトの作品や発想に興味を持つことができる。

## ○教科道徳教育到達目標

美術の諸活動を通して、ものの見方や表現の幅を広げ、事物の表現の多面性を知り、自分とは異なるものへの寛容性を高め、他を認める精神を養う。

## ○学習方法

- 1: 忘れ物をしない(筆記用具など、個人的に必要な材料等は必ず持ってくる)。
- 2: 完成を目指し途中であきらめない。
  - ・制作期間の間は完成だと思っても、もっと自分の作品を高めるために考え創意工夫をし続け手を加える。
  - ・早めに完成したと言う人ほど中途半端な作品になる傾向があります。
  - ・最後まで自分自身と向き合って作品と対話していきましょう。
- 3: 後片付けは次回への準備！
  - ・使った道具、出したゴミは自分で片付ける。

## ○グレード別授業の基準

## ○指導計画(学習内容・考查等の予定)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>【1学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクセルアート</li> <li>・鉛筆でできる表現</li> <li>・色彩の役割</li> <li>・水彩表現<br/>(いろいろな表現で描く)</li> <li>・マーブリング<br/>(偶然の表現)</li> <li>・様々なアート表現<br/>「美術ってなに？」</li> </ul> | <p><b>【2学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字のアート&amp;デザイン</li> <li>・オノマトペを見つける</li> <li>・絵文字を創る</li> <li>・貼り絵で表現(コラージュ)<br/>※スティックのり</li> <li>・日常にあるデザイン<br/>(プロダクトデザイン)</li> </ul> | <p><b>【3学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・版画表現(木版画)</li> <li>・伝統的な技術を知る</li> <li>・シルクスクリーンを体</li> </ul> |
|---|---|---|

◎持参用具: 鉛筆・消しゴム・油性マジック・白紙のノート(自由帳、スケッチブック、クロッキーブックなど)  
水彩用具一式・カッターナイフ

※制作の進行状況・行事などによる授業数の増減により制作課題の変更があります。

## ○評価方法

各学期ごとに、作品評価、ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。  
(作品評価50% ルーブリック評価100%)

※ルーブリック評価観点表は別紙参照

# 令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	2	年		
教科	芸術	科目	美術		単位数	1
担当者	全組	村上				
教科書	中学美術2・3 上下(日本文教出版)		副教材			

## ○学習到達目標

- 自分のイメージを工夫と技能を活かして表現できている。
- 道具・材料・技法の理解、課題に関する美術作品への理解。
- 個性豊かに発想と完成に向けて積極的に表現をする。
- 美術作品について、その魅力や世の中での役割について深く考えることができる。
- クラスメイトの作品や発想に興味を持つことができる。

## ○教科道徳教育到達目標

美術の諸活動を通して、ものの見方や表現の幅を広げ、事物の表現の多面性を知り、自分とは異なるものへの寛容性を高め、他を認める精神を養う。

## ○学習方法

- 1: 忘れ物をしない(筆記用具など、個人的に必要な材料等は必ず持ってくる)。
- 2: 完成を目指し途中であきらめない。
  - ・制作期間の間は完成だと思っても、もっと自分の作品を高めるために考え創意工夫をし続け手を加える。
  - ・早めに完成したと言う人ほど中途半端な作品になる傾向があります。
  - ・最後まで自分自身と向き合って作品と対話していきましょう。
- 3: 後片付けは次回への準備！
  - ・使った道具、出したゴミは自分で片付ける。

## ○グレード別授業の基準

## ○指導計画(学習内容・考查等の予定)

【1学期】	【2学期】	【3学期】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なアート表現「アートって何？」</li> <li>・模様のアート(日本と海外の模様文化)</li> <li>・模様を描こう</li> <li>※コンパス</li> <li>・ピクトグラムを創る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木目堆朱を創る</li> <li>・漆工芸を学ぶ</li> <li>・写真による表現</li> <li>※ipad</li> <li>・スタンプ制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめる「自画像制作」</li> <li>・金属アクセサリ制作(鑄造・研磨)</li> <li>※技術と連携</li> <li>・作品展示をしよう</li> </ul>
<p>◎持参用具:鉛筆・消しゴム・油性マジック・白紙のノート(自由帳、スケッチブック、クロッキーブックなど)、カッターナイフ</p> <p>※制作の進行状況・行事などによる授業数の増減により制作課題の変更があります。</p>		

## ○評価方法

各学期ごとに、作品評価、ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。  
 (作品評価50% ルーブリック評価100%)  
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

# 令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	3	年		
教科	芸術	科目	美術		単位数	1
担当者	全組	村上				
教科書	中学美術2・3 上下(日本文教出版)		副教材			

## ○学習到達目標

- 自分のイメージを工夫と技能を活かして表現できている。
- 道具・材料・技法の理解、課題に関する美術作品への理解。
- 個性豊かに発想と完成に向けて積極的に表現をする。
- 美術作品について、その魅力や世の中での役割について深く考えることができる。
- クラスメイトの作品や発想に興味を持つことができる。

## ○教科道徳教育到達目標

美術の諸活動を通して、ものの見方や表現の幅を広げ、事物の表現の多面性を知り、自分とは異なるものへの寛容性を高め、他を認める精神を養う。

## ○学習方法

- 1: 忘れ物をしない(筆記用具など、個人的に必要な材料等は必ず持ってくる)。
- 2: 完成を目指し途中であきらめない。
  - ・制作期間の間は完成だと思っても、もっと自分の作品を高めるために考え創意工夫をし続け手を加える。
  - ・早めに完成したと言う人ほど中途半端な作品になる傾向があります。
  - ・最後まで自分自身と向き合って作品と対話していきましょう。
- 3: 後片付けは次回への準備！
  - ・使った道具、出したゴミは自分で片付ける。

## ○グレード別授業の基準

## ○指導計画(学習内容・考査等の予定)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>【1学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なアート表現<br/>「アートってなに」?</li> <li>・空想生物イラスト</li> <li>・粘土で作る空想生物</li> </ul> | <p><b>【2学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションを創ろう<br/>クレイアニメーション</li> <li>※ipad</li> <li>・ブック制作<br/>「自分だけの本づくり」</li> <li>・金属アクセサリー制作<br/>(型作り)</li> </ul> | <p><b>【3学期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属アクセサリー制作<br/>(鋳造・研磨)</li> </ul> |
|---|---|---|

◎持参用具:鉛筆・消しゴム・油性マジック・白紙のノート(自由帳、スケッチブック、クロッキーブックなど)、カッターナイフ

※制作の進行状況・行事などによる授業数の増減により制作課題の変更があります。

## ○評価方法

各学期ごとに、作品評価、ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。  
(作品評価50% ルーブリック評価100%)

※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階		A	B	C	D
	評価項目					
知識及び技能	<p><b>作品評価</b> <b>(表現における技能)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のイメージを工夫と技能を活かして表現できている。</li> <li>工夫とは・・・自ら考え作品を良くしていく方法。</li> <li>技能とは・・・表現のための道具の扱い方や、材料(絵の具の色や紙の種類)の選び方。</li> </ul>		十二分にできている。	おおむねできている。	あまりできてはいないが、前向きに取り組んでいる。	あきらめている。
	<p><b>作品(表現)のための知識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現のために道具・材料・技法を理解している。</li> <li>課題に関係する美術作品を知っている。</li> <li>それらのことを他人に説明することができる。</li> <li>技法とは・・・作品を完成させるための決められた手順やテクニックのこと。課題によって変わってくる。</li> <li>※WEBテストなどの実施あり。</li> </ul>		十分に理解し、説明することができる。	おおむね理解できている。	あまり理解できていないが、前向きに取り組んでいる。	理解することをあきらめている
思考力・判断力・表現力等	<p><b>作品評価</b> <b>(表現における思考力・判断力・表現力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個性豊かに発想して、完成に向けて積極的に表現できている。</li> <li>自分の作品について話すことができる。</li> <li>クラスメイトの作品について感想を言える。</li> <li>※ポートフォリオなどでの作品シート提出などあり</li> </ul>		十二分にできている。	おおむねできている。	あまりできてはいないが、前向きに取り組んでいる。	まったくできていない
	<p><b>鑑賞の力</b> <b>(モノを観て理解し考える力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術作品について、その魅力や世の中での役割について深く考えることができている。</li> <li>それらのことについて自分の考えをまとめ、発言またはレポートを書くことができる。</li> <li>※ポートフォリオなどでの鑑賞レポート提出などあり</li> </ul>		十二分にできている。	おおむねできている。	あまりできてはいないが、前向きに取り組んでいる。	まったくできていない
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において他の生徒との協同の中心となり、全体の理解を深める役割を担う</li> <li>発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をする</li> <li>発言を意欲的に聞き、自分の意見と比較し、自分の考えを深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合う</li> <li>発問に対して意欲的に考え、発言する</li> <li>発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとする</li> <li>発問に対して意欲的に考え、発言しようとする</li> <li>発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとしない</li> <li>発問に対して意欲的に考え、発言しようとする</li> <li>発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとしない</li> </ul>	
	授業準備	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。	与えられた課題の提出ができない。	
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。	